

2024年3月15日

日立造船グループ（Hitachi Zosen Inova）が イタリアのバイオガス企業を子会社化

日立造船株式会社の100%子会社でごみ焼却発電プラントやバイオガスプラントなどの設計、建設、運営、保守を手がけるHitachi Zosen Inova AG（スイス、以下、HZI）が、イタリアを中心にバイオガス事業を手がけるSchmack Biogas Srl（イタリア トレンティーノ＝アルト・アデージェ州^{ボルツァーノ}Bolzano、以下、Schmack Biogas）の株式過半数をPLC SpA（イタリア、以下、PLC）などから取得し、子会社としましたのでお知らせします。

Schmack Biogasは、2021年にHZIが買収したSchmack Biogas Service GmbH（現Hitachi Zosen Inova Schmack GmbH、ドイツ、^{シュバンドルフ}Schwandorf）の支店として2006年に設立され、2018年に独立した後、2020年にPLCが株式過半数を取得していました。Schmack Biogasは設立後一貫してバイオガス事業を手がけており、イタリアを中心に、ギリシャ、エストニア、ベルギー等でバイオガスプラントのEPC（Engineering（設計）、Procurement（調達）、Construction（建設））、運営・保守、事業開発に携わってきました。

イタリアは欧州の中でもバイオガス・バイオメタン^{※1}利用が盛んであり、欧州委員会が公表した「REPowerEU^{※2}」の計画により、さらなる市場拡大が見込まれています。

当社グループは、欧州におけるバイオガスの自社運営事業拡大のために2023年度から2025年度までの3年間で約400億円の投資を計画しており、既にHZIはイタリア北西部の都市^{ピアンフェーイ}Pianfeiにおいて、バイオガスプラントの建設および自社所有・運営を決定し、2027年の稼働開始を目指しています。

HZIは、乾式メタン発酵技術「Kompogas[®]（コンポガス）」で2014年からバイオガス事業に進出し、2021年には湿式メタン発酵技術を有するHitachi Zosen Inova Schmack GmbHを買収するなど、バイオガス事業のEPCや運営、保守の強化に取り組んできましたが、Schmack Biogasは、イタリアおよびその他海外で約70件のバイオガスおよびバイオメタンプラントを納めており、HZIグループのバイオガス事業のさらなる拡大に大きく貢献するものです。

今回のSchmack Biogasの株式取得は、当社グループの戦略に沿った取り組みであり、当社グループは日本および欧州で培ってきたバイオガス・バイオメタン技術を活用し、ますます高まる需要に積極的に貢献していきます。

- ※ 1 バイオメタン：有機性廃棄物を発酵させることによって発生するバイオガスを精製することによって、天然ガスと同等となるメタン濃度 90%以上に純度を高めたもの。
- ※ 2 REPowerEU：2022年5月に欧州委員会が公表した再生可能エネルギー利用計画。天然ガスの代替品として、バイオメタンの大幅な増産案が盛り込まれている。

なお、Schmack Biogas の概要は次のとおりです。

1. 名称：Schmack Biogas Srl.
2. 所在地：イタリア トレンティーノ＝アルト・アディジェ州 Bolzano
3. 事業内容：バイオガス・バイオメタンプラントの設計・建設・運営・保守
4. 設立年：2006年1月
5. 資本金：約3億4,000万円
6. 売上規模：約20億円
7. 従業員数：約50名

(終)